

# 小倉薬剤師会 4月学術研修会のご案内

謹啓 先生方におかれましては 益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。  
さてこの度、下記の要領にて小倉薬剤師会学術研修会を開催いたします。  
ご多忙中、誠に恐縮とは存じますが、万障お繰り合わせの上ご出席頂きますよう  
お願い申し上げます。  
※今回、特別講演の開始時間が19時からとなっておりますのでお間違いのないよう  
お願いいたします。

謹白

## 記

【日時】 2018年 4月24日 (火) 19:00～

【場所】 小倉薬剤師会館 3階 研修室  
北九州市小倉南区富士見2丁目8番20号

【P S】 1. ヒューマニズム (倫理) : ①-1・2・4・21、②-5～9  
2. 医薬品の適正使用 (安全性、経済性) : ③-9・12・31・32

---

【特別講演】 19:00 ～ 20:00

座長 学術委員会 井原 由紀子

## 『 医師と協働して取り組む ポリファーマシー対策と病診薬連携 』

演者 JCHO九州病院薬剤部長 末松 文博先生

---

### <講演会要旨>

近年、学会や講演会などでポリファーマシーに関するテーマが数多く取り上げられています。しかし、いざ薬局に戻れば毎日の調剤業務に追われ、さらに協力してくれる医師もいない中、どこから始めて良いのかわからない薬剤師も多いのではないのでしょうか。

私たちは、八幡地区を中心に、大学・基幹病院の医師や薬剤師、医師会や薬剤師会の役員が発起人・世話人となった「北九州高齢者薬物療法研究会」を昨年4月に立ち上げました。最初のテーマは「医師と薬剤師が協働して、地域で取り組むポリファーマシー対策」。実践して成果を示すことにこだわります。

研究会では、講演会と全員参加型のWSを年に2回ずつ開催します。また、各施設において、できることから多職種による処方適正化に向けた取り組みを始めるとの方針が示されており、少しずつ成果を出してきています。今回は研究会の立ち上げから活動、病院での実際の取り組みについてお話ししたいと思います。

主催：(一社) 小倉薬剤師会